

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈中・国語〉

特別研修員 国語 萩原 茜（中学校教諭）

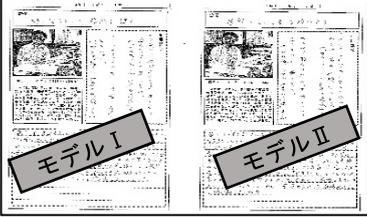
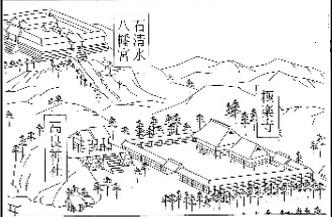
単元名『随筆に表れた作者の考えを紹介しよう（徒然草）』（第2学年） 全6時間計画

## 単元のねらい

図や語注、現代語訳を手掛かりにして徒然草の複数の章段を読み、兼好法師の流儀を紹介シートにまとめる活動を通して、作者のものの見方や考え方を考えることができる。

## 学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導の工夫を取り入れた単元構想

本単元では、兼好法師の流儀を紹介シートにまとめるという言語活動を設定し、古典作品における作者のものの見方や考え方を考えられるように構成しました。現代語訳が困難で、内容理解が不十分になると、作者のものの見方や考え方を考える学習の課題に迫ることが難しくなります。そこで、追究する過程とまとめる過程において、原文と現代語訳をセットにして徒然草の各章段や方丈記を配付することで、内容理解を促しました。また、生徒に配付する資料の文字にUDフォントを使用することで、文字を形として捉えにくい生徒を含む誰もが読みやすい資料となるようにしました。

教師側の意図	学習過程(時数)と主な学習活動	指導の実際
<p><b>モデルの提示</b></p> <p>モデルを提示することで、生徒がゴールの姿を想像できるようにする。また、モデルを複数提示することで、ゴールの姿を一つに絞らず、様々な考えが生まれるようにする。</p>	<p><b>つかむ過程(1)</b></p> <p><b>1 単元の課題を把握する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○紹介シートのモデルを複数見る。</li> <li>○単元の課題を設定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>徒然草に表れているものの見方や考え方から「兼好法師の流儀」をまとめよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○兼好法師や徒然草について知る。</li> </ul>	<p>複数のモデルを提示したことで、作成するシートのイメージが明確に伝わった。生徒からは多様な考えが生まれた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>〈複数の紹介シートのモデル〉</p>
<p><b>現代語訳の配付</b></p> <p>各章段の原文に加えて現代語訳を配付することで、全ての生徒が内容を理解し、課題に取り組めるようにする。また、UDフォントを使用することで視覚的にも見やすくする。(※)</p>	<p><b>追究する過程(4)</b></p> <p><b>2 兼好法師の流儀を紹介シートにまとめ、読み合う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○原文と現代語訳がセットになった複数の章段を読み、兼好法師のものの見方や考え方を考える。</li> <li>○図(右図参照)や語注を参考にして「仁和寺にある法師」を読み、作品に表れている兼好法師のものの見方や考え方に気付く。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>〈石清水八幡宮周辺の図〉</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○考えたものの見方や考え方を「兼好法師の流儀」として紹介シートにまとめる。</li> <li>○紹介カードを読み合う。</li> </ul>	<p>現代語訳を配付することで、古典への苦手意識がある生徒も内容を理解し、作者のものの見方や考え方を考えようとする姿が見られた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「高名の木のぼり」を選びました。油断すると失敗する、ということ伝えたいのかなと思いました。</p> </div> <p>〈生徒の振り返りより抜粋〉</p>
<p><b>目的に応じた班編制</b></p> <p>読み合いの場面において、「同じ章段を選んだ人同士」「違う章段を選んだ人同士」と読み合う相手を限定することで、生徒の視点を絞り、目的に沿った読み合いになるようにする。</p>	<p><b>まとめる過程(1)</b></p> <p><b>3 単元の学習を振り返る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元で学んだことを確認する。</li> <li>○現代語訳を参考にして方丈記を読む。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;">原文</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;">現代語訳</div> </div> <p>〈方丈記の原文(上段)と現代語訳(下段)〉</p>	<p>選んだ段を基に意図的に班を編制し、読み合う相手を限定することで、生徒が視点を絞って読み合うことができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>〈同じ章段同士〉      〈違う章段同士〉</p>
<p><b>一般化を促す</b></p> <p>本単元で学習してきたことを生かして、別の古典作品を読むことへの意欲付けにつなぐ。</p> <p>※上の欄の文字はUDフォントを使用</p>	<p>三大随筆で未習の方丈記を、既習事項を生かして読む、という活動に意欲的に取り組む生徒が多く見られた。単元後には、学校図書館で古典作品を借りる生徒や、自分で徒然草の本を買い、未習の章段を読む生徒も見られた。</p>	

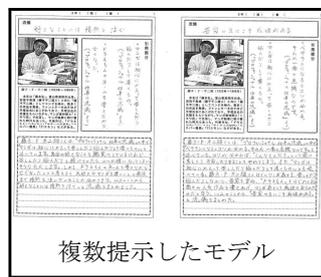
指導例：『随筆に表れた作者の考えを紹介しよう（徒然草）』  
（第2学年 第1時）

1 資料やモデルと出会い、単元の課題を把握する。

○資料やモデルと出会い、流儀をまとめていくことを知る。



映像資料の活用



複数提示したモデル

○既習の「流儀」という言葉を再度確認する。

T：「流儀」という言葉はどういう意味だか覚えているかな。

S：何かをするときのやり方という意味でした。

S：広い意味で人の生き方という意味でも使えました。

T：そうだね。物事のやり方には人の考えが反映されるから、生き様とか物事との向き合い方という意味もあったよね。

○徒然草が随筆であることを想起し、兼好法師のものの見方や考え方が表れていることに気付く。

T：「徒然草」について知っていることはあるかな。

S：随筆です。

S：「枕草子」を学習したときに三大随筆の一つとして出てきました。

S：「枕草子」には作者の思う美しいものやかわいらしいもの、醜いものなど、作者の考えが書かれていました。

T：「徒然草」にも作者である兼好法師の考えが書かれていそうだね。

単元の課題 徒然草に表れているものの見方や考え方から「兼好法師の流儀」をまとめよう。

2 本時のめあてをつかむ。

めあて 兼好法師や「徒然草」について知り、学習の見通しをもとめる。

3 単元全体の学習の見通しをもつ。

○「徒然草」は鎌倉時代の随筆作品であり、隠居した兼好法師が書いていることを知る。

○作品の冒頭部分を学習し、兼好法師について知る。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

○これからの学習への意欲を中心に振り返りシートにまとめる。

☆兼好法師のものの見方や考え方を「流儀」として紹介シートにまとめてみたい。

☆兼好法師がどういう考えをもっていた人なのか知りたい。

指導のポイント

映像資料の活用

○放映された番組を映像資料として活用することで、今後の学習や単元の課題への興味・関心を高められるようにする。

モデルの複数提示

○単元のゴールをモデルとして複数示すことで、課題を明確にしたり学習への興味・関心を高めたりするとともに、生徒の思考が一つのモデルに限定されないようにする。

既習事項や系統を意識した言語活動の設定

○既習事項や同じ系統に位置付けられる単元を課題に関連させることで、既習事項の更なる定着を図るとともに、身に付けてきた知識・技能を活用しようとする意識を高める。

思考の基となる知識の定着

○古典作品を学習する上で必要となる時代背景や作者情報を理解するために、社会科の歴史的な知識と関連付けるとともに、今後の学習において思考する基となるようにする。

指導のポイント

指導例：『随筆に表れた作者の考えを紹介しよう（徒然草）』  
（第2学年 第5時）

1 本時のめあてをつかむ。

○前時までには作成した紹介シートを読み合い、自分の考えと比べることを知る。

めあて 紹介シートを読み合って、自分の考えと比べよう。

2 自分が選んだ章段とまとめた流儀について再度確認する。

○選んだ章段を再度読む。

○選んだ章段から自分がまとめた流儀について再度確認する。

T：選んだ章段が分かるようになっているかな。引用するときは引用元をはっきりさせることがルールだよ。

S：紹介シートの引用部分に二つともしっかり書けました。

S：書き忘れないようにしよう。

S：どの章段を選んだのかが分かると、自分との比較もしやすいね。

3 流儀についてまとめた紹介シートを読み合いながら多様な考えに触れ、新たな気付きをもつ。

○同じ章段を選んだ生徒を集めた班を作り、読み合う。

○新しい発見など参考になる考えが見付かったら必ずメモをする。

○教室を自由に移動して、他の章段を選んだ生徒の紹介シートを読み合う。



同じ章段同士



違う章段同士

S：同じ章段を選んだのに、引用している部分が違うね。

S：引用している部分が違うだけで、流儀の捉え方も変わるね。

S：自分は見付けられなかった部分を引用して、流儀を考えている人もいたよ。

S：一度読んだ章段だけれど、この流儀を考えながら詳しく読んでみたいな。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

○紹介シートを読み合って気付いたことや考えたことを中心に振り返りシートに書く。

☆同じ引用部分でも、自分とは異なる解釈をしていて参考になった。

☆同じ章段を選んだ友達が、違う部分を引用していて、自分とは違う「流儀」をまとめていた。

☆同じ部分を引用しても、「流儀」が異なるのはおもしろい。

個の考えを広げるための準備

○紹介カードを読み合う前に、自分の考えを再度確認することで、読み合いによって考えが広がりやすいようにする。

引用における著作権指導

○引用する際、出典を明らかにする等の著作権に関わる指導を、機会を捉えて継続的に行い、定着を図る。

読み合いの工夫

○同じ章段を選んだ生徒同士、違う章段を選んだ生徒同士というように、読み合いの相手を変えることで、作者のもの見方や考え方の捉え方の多様性を受けて自分の考えが広がるようにする。

振り返りの工夫

○身に付けさせたい資質や能力についてまとめさせることで、めあてに沿った振り返りができるようにする。

指導例：『随筆に表れた作者の考えを紹介しよう（徒然草）』  
(第2学年 第6時)

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

- 作品や作者についての基本情報から紹介シートの作成・読み合いまで、単元全体を振り返る。

めあて 単元全体を振り返り、方丈記を読んでみよう。

知識・技能の振り返り

- 単元を通して身に付けた知識・技能を振り返ることで、単元全体を振り返ったときに一般化しやすいようにする。

2 単元で学んだことを確認する。

- 単元の振り返りを行う前に、単元で学んだことを想起する。
- 「仁和寺にある法師」について、文法事項も合わせて内容を確認する。
- T：「仁和寺にある法師」は、どのような失敗をしたのかな。
- S：山の麓にある極楽寺や高良神社を石清水八幡宮だと勘違いして、本来の目的である石清水八幡宮を参拝できなかったことです。
- S：勘違いをしていると気付いていないから、極楽寺や高良神社を「尊くこそおはしけれ」と伝えています。
- T：「尊い」を強調するために、どのような表現がされているかな。
- S：係り結びが使われています。

他の古典文学への活用

- 単元を通して身に付けた資質や能力を生かして他の古典文学を読むことで、学んだことを活用していこうとする意欲が高まったり、自分の資質や能力が向上していることを実感できたりするようにする。

3 学んだことを一般化して理解する。

- 原文と現代語訳が対応して書かれているプリントを受け取る。
- 徒然草で学んだことを基にして方丈記を読む。

- S：最初の「水の流れは」のところは、どういう意味だろう。
- S：川の水は同じところにとどまっていないという意味みたいだよ。絶えず流れているから変化しているという感じかな。
- S：平家物語で出てきた無常観だね。原文にも「無常」と書かれているね。
- S：どちらも鎌倉時代の作品だから考え方が似ているのかな。
- S：作者の鴨長明は無常観について思いがあるようだね。



方丈記の原文と現代語訳

内容理解が困難な生徒への配慮

- 未習である「方丈記」は、原文と現代語訳の両方が書かれたプリントを配付することで、内容を理解し、作者のものの方や考え方に迫れるようにする。
- 配付するプリントのフォントをUDフォントにすることで、文字を形として捉えにくい生徒を含めて誰もが読みやすくなるようにする。

4 単元全体のまとめ・振り返りをする。

- 来年度は古典の一節を引用して使えるようにする学習をすることを知る。
- 学校図書館には、徒然草を含めて様々な古典作品があることを知る。
- この単元で何を学んできたのかや、今後の学習や生活の中でどのように活用していきたいかという視点を中心に振り返りを書く。
- ☆徒然草の他の章段や他の古典作品も読んでみたい。
- ☆古典の一節を引用して使えるように、今から挑戦してみたい。

学習の広がりや系統を意識した振り返りの工夫

- 学校図書館にある本を紹介したり、来年度の学習内容を伝えたりすることで、次の系統教材への意欲が高まるようにする。

# 国語科学習指導案

令和元年10月 第2学年 指導者 萩原 茜

## I 単元名 「随筆に表れた作者の考えを紹介しよう（徒然草）」

## II 学習指導要領上の位置付け

(1) 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること。

【知識及び技能（3）我が国の言語文化に関する事項イ】

(2) 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。

【思考力、判断力、表現力等 C読むことオ】

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとすること。

【学びに向かう力、人間性等】

## III 目 標

随筆作品「徒然草」に表れている作者のものの見方や考え方をまとめて他者と読み合う活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 現代語訳を手掛かりにして徒然草を読むことを通して、作品に表れた兼好法師のものの見方や考え方を知ること。

(知識及び技能)

(2) 徒然草を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 現代語訳や語注等を手掛かりにして、徒然草に表れる兼好法師のものの見方や考え方について学んだり考えたりしたことを、紹介シートにまとめようとする。

(学びに向かう力、人間性等)

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開 (1/6)

- ねらい 兼好法師の生き方や徒然草について知ったり、紹介シートのモデルを見たりする活動を通して、単元の課題を把握させ、学習の見通しをもたせる。
- 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
<p>1 資料やモデルと出会い、単元の課題を把握する。(15分)</p> <p>○資料やモデルと出会い、流儀をまとめていくことを伝える。</p> <p>○既習の「流儀」という言葉を再度確認させる。</p> <p>○徒然草が随筆作品であることを想起し、兼好法師のものの見方や考え方が表れていることに気付かせる。</p>			
<p>単元の課題</p> <p>徒然草に表れているものの見方や考えから「兼好法師の流儀」をまとめよう。</p>			
<p>2 本時のめあてをつかむ。(5分)</p>			
<p>めあて 兼好法師や「徒然草」について知り、学習の見通しをもとう。</p>			
<p>3 単元全体の学習の見通しをもつ。(20分)</p> <p>○徒然草は鎌倉時代の随筆作品であり、隠居した兼好法師が書いていることを知らせる。</p> <p>○作品の冒頭部分を学習し、兼好法師について知らせる。</p>			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。(10分)</p> <p>○これからの学習への意欲を中心に振り返りシートにまとめさせる。</p>			
<p>兼好法師の生き方や徒然草について知り、作者のものの見方や考え方を「流儀」として紹介シートにまとめたいと記述したり、発言したりしている。 &lt;振り返り・発言(3)&gt;</p>			
<p>☆兼好法師のものの見方や考え方を「流儀」として紹介シートにまとめてみたい。</p> <p>☆兼好法師がどういう考えをもっていた人なのか知りたい。</p>			

## V 本時の展開 (5/6)

- ねらい 他者が作成した紹介シートを読み合う活動を通して、「兼好法師の流儀」についての考えが広がるようにする。
- 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分)	○前時までに作成した紹介シートを読み合い、自分の考えと比べることを知らせる。		
めあて 紹介シートを読み合って、自分の考えと比べよう。			
2 自分が選んだ章段とまとめた流儀について再度確認する。(10分)	○選んだ章段を再度読ませる。 ○選んだ章段から自分がまとめた流儀について再度確認させる。		
3 流儀についてまとめた紹介シートを読み合いながら、多様な考えに触れる。(25分)	○同じ章段を選んだ生徒を集めた班を作り、読み合わせる。 ○新しい発見など参考になる考えが見付かったら必ずメモをさせる。 ○教室を自由に移動させ、他の章段を選んだ生徒の紹介シートを読み合わせる。		
他者のまとめた「流儀」から、兼好法師のものの見方や考え方について自分の考えを広げている。 <見取り・プリント・振り返り(1)>			
4 本時のまとめ・振り返りをする。(10分)	○紹介シートを読み合って気付いたことや考えたことを中心に振り返りシートに書かせる。 ☆同じ引用部分でも、自分とは異なる解釈をしていて参考になった。 ☆同じ章段を選んだ友達が、違う部分を引用していて、自分とは違う「流儀」をまとめていた。 ☆同じ部分を引用しても、「流儀」が異なるのはおもしろい。		

## V 本時の展開 (6/6)

- ねらい 単元全体を振り返り、随筆作品「方丈記」を読む活動を通して、他の章段や他の古典作品を学ぶ意欲をもたせる。
- 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
<p>1 本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>○作品や作者についての基本情報から紹介シートの作成・読み合いまで、単元全体を振り返らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>めあて 単元全体を振り返り、方丈記を読んでみよう。</p></div>			
<p>2 単元で学んだことを確認する。(15分)</p> <p>○単元の振り返りを行う前に、単元で学んだことを想起させる。</p> <p>○「仁和寺にある法師」について、文法事項も合わせて内容を確認させる。</p>			
<p>3 学んだことを一般化して理解する。(15分)</p> <p>○原文と現代語訳が対応して書かれているプリントを配付する。</p> <p>○徒然草で学んだことを基にして方丈記を読ませる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"><p>方丈記を意欲的に読み、徒然草の他の章段や他の古典作品を読もうとする意欲を記述したり、発言したりしている。 &lt;発言・振り返り(1)&gt;</p></div>			
<p>4 単元全体のまとめ・振り返りをする。(15分)</p> <p>○来年度は古典の一説を引用して使えるようにする学習をすることを伝える。</p> <p>○学校図書館には、徒然草を含めて様々な古典作品があることを伝える。</p> <p>○この単元で何を学んできたのかや、今後の学習や生活の中でどのように活用していきたいかという視点を中心に振り返りを書かせる。</p> <p>☆徒然草の他の章段や他の古典作品も読んでみたい。</p> <p>☆古典の一節を引用して使えるように、今から挑戦してみたい。</p>			

指導計画 国語科 第2学年 単元名「随筆に表れた作者の考えを紹介しよう（徒然草）」（全6時間計画）

目標	随筆作品「徒然草」に表れている作者のものの見方や考え方をまとめて他者と読み合う活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (1) 現代語訳を手掛かりにして徒然草を読むことを通して、作品に表れた兼好法師のものの見方や考え方を 知ること。 (知識及び技能) (2) 徒然草を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。 (思考力、判断力、表現力等) (3) 現代語訳や語注等を手掛かりにして、徒然草に表れる兼好法師のものの見方や考え方について学んだり考 えたりしたことを、紹介シートにまとめようとする。こと。 (学びに向かう力、人間性等)		
評価規準	(1) 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、作者の思いを想像することができる。 【ア伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(イ)】 (2) 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつことができる。 【C読むことエ】 (3) 現代語訳や語注等を参考にして内容を理解し、今までの学習を生かして、考えたことについて紹介シートにま とめようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】		
過程	時間	☆振り返り（意識）	◇評価項目 <方法（観点）>
つかむ	1 ○兼好法師の生き方や徒然草について知ったり、紹介シートのモデルを見たりする活動を通して、単元の課題を把握させ、学習の見通しをもたせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">単元の課題 徒然草に表れているものの見方や考え 方から「兼好法師の流儀」をまとめよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">兼好法師や「徒然草」について知り、学 習の見通しをもとう。</div>	☆兼好法師のものの見方や考 え方を「流儀」として紹介 シートにまとめてみたい。 ☆兼好法師がどういう考 えをもっていた人なのか知りた い。	◇兼好法師の生き方や徒 然草について知り、作者の ものの見方や考え方を「流 儀」として紹介シートに まとめたいと記述したり、 発言したりしている。 <振り返り・発言(3)>
追究する	1 ○図や語注を参考にして「仁和寺にある法師」の内容を読み取る活動を通して、表れている兼好法師のものの見方や考え方に気付くようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">図や語注を参考にして「仁和寺にある法師」を読み、兼好法師のものの見方や考 え方を考えよう。</div>	☆語注や図を参考にして、仁 和寺の法師が失敗した内容 を説明できた。 ☆仁和寺の法師は勘違いをし て、目的を果たせなかった ことが分かった。 ☆兼好法師のものの見方や考 え方に気付くことができた。	◇図や語注を参考にして内 容を理解し、作者のもの の見方や考え方に気付く ことができる。 <発言・振り返り(1)>
まとめる	1 ○複数の章段の中からいくつかの章段を選び、「兼好法師の流儀」として紹介シートに自身で考えたり友達と検討し合ったりする活動を通して、兼好法師のものの見方や考え方を考えることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">選んだ章段から読み取ったものの見方や 考え方を基にして「兼好法師の流儀」を紹 介シートにまとめよう。</div>	☆現代語訳を参考にした ら、兼好法師の考え方が書 かれている部分を見付けら れた。 ☆複数の章段から、兼好法師 のものの見方や考え方を表 す部分を見付けて、「流儀」 としてまとめることができ た。 ☆友達のアドバイスを参考 にして「流儀」をまとめら れた。	◇現代語訳を参考にして兼 好法師のものの見方や考 え方を考え、「流儀」と してまとめることができ る。 <紹介シート・振り返り (2)> ◇兼好法師のものの見方 や考え方を「流儀」とし て紹介シートにまとめよ うとしている。 <紹介シート・見取り(3)>
まとめる	1 ○他者が作成した紹介シートを読み合う活動を通して、「兼好法師の流儀」についての考えが広がるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">紹介シートを読み合っ て、自分の考えと 比べよう。</div>	☆同じ引用部分でも、自分 とは異なる解釈をしてい て参考になった。 ☆同じ章段を選んだ友達が、 違う部分を引用していて、 自分とは違う「流儀」をま とめていた。 ☆同じ部分を引用しても、「流 儀」が異なるのはおもしろ い。	◇他者のまとめた「流儀」 から、兼好法師のもの の見方や考え方について自 分の考えを広げている。 <見取り・プリント・振 り返り(1)>
まとめる	1 ○単元全体を振り返り、随筆作品「方丈記」を読む活動を通して、他の章段や他の古典作品を学ぶ意欲をもたせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">単元全体を振り返り、方丈記を 読んでみよう。</div>	☆徒然草の他の章段や他の古 典作品も読んでみたい。 ☆古典の一節を引用して使 えるように、今から挑戦し てみたい。	◇方丈記を意欲的に読み、 徒然草の他の章段や他の 古典作品を読もうとする 意欲を記述したり、発言 したりしている。 <発言・振り返り(1)>